

港湾における先進的技術を用いた低炭素化設備の導入に対する支援

(災害等非常時にも効果的な港湾地域低炭素化推進事業)

国土交通省では環境省と連携し、港湾における先進的技術を用いた低炭素化設備の導入に対する支援を行います。本事業の実施により、港湾活動に伴う温室効果ガス排出量の削減が図られ、港湾における低炭素化がより一層推進されることとなります。

1. 事業の概要

事業計画：平成24年度～平成26年度

予算額：4億円[平成24年度]

補助率：1/2以内

2. 公募の概要

(1) 公募期間

平成24年9月6日(木)～平成24年9月26日(水)

(2) 対象とする事業

以下の全てを満たす事業を対象とします。ただし、再生可能エネルギーによる発電等に係る設備は除きます。

- ・港湾において使用する設備等の導入
- ・低炭素化を推進する設備等の導入
- ・先進的技術の導入
- ・新設の設備等又は既設設備等の能力以上の設備等(代替又は改造)の導入

(3) 応募者の要件

民間企業等

(4) 応募方法

公募要領に基づき、公募期間内に必要な書類と電子媒体を持参または郵送によって、応募者が対象設備を導入しようとする所在地を管轄する国土交通省地方整備局等へ提出して下さい。

【設備の事例】

① 電動型トランスファークレーン

○給電施設から商用電源を供給し、エンジンにかわる動力源とすることで、温室効果ガス排出量を大幅に低減するとともに、回生電力を施設内へ戻し、有効活用することが可能。

<電動化によるCO2排出量削減効果例>
約2,412t/年 → 約701t/年(約71%削減)
※博多港における平成23年度実績



② ハイブリッド型ストラドルキャリア

○コンテナの巻き下げ時及び車両の制動時に発生するエネルギーを蓄電装置に蓄電し、巻き上げ時及び車両の加速時に再利用することで、エンジンの負荷を低減し、温室効果ガス排出量を減らすことが可能。



③ 船舶への陸上電力供給施設

○岸壁に停泊中の船舶に対して陸上電力を供給することで、船舶からの排出ガス(CO2、SOx、NOx等)削減による大気環境の改善及び騒音の低減が可能。

